

## 平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月9日

上場会社名 株式会社 アイケイコーポレーション  
 コード番号 3377 URL <http://www.ikco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合管理本部管掌  
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

上場取引所 東

(氏名) 加藤義博  
 (氏名) 山縣 俊

TEL 03-6803-8855

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	5,983	—	104	—	120	—	50	—
20年8月期第1四半期	5,692	22.8	358	17.2	363	7.8	141	△22.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	331.43	—
20年8月期第1四半期	925.73	923.72

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第1四半期	5,934	4,621	76.6	29,755.27
20年8月期	6,364	4,626	71.6	29,823.84

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 4,548百万円 20年8月期 4,558百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年8月期	—	400.00	—	400.00	800.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	600.00	—	600.00	1,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	12,122	—	462	—	480	—	225	—	1,477.82
通期	27,408	11.5	2,128	14.2	2,166	13.7	1,122	32.3	7,352.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 152,856株 20年8月期 152,856株  
 ② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 一株 20年8月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第1四半期 152,856株 20年8月期第1四半期 152,485株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した国際的金融市場の混乱に加え、日本株式市場の大幅下落、急激な円高による輸出企業の収益の減少にともなう雇用情勢の悪化等から、設備投資の減速や個人消費の低迷が懸念され、今後の経済に大きな不安を抱えた状況となっております。

当社グループが属するオートバイ業界におきましては、国内におけるオートバイ保有台数が1,293万台（平成19年3月末現在、出所：社団法人日本自動車工業会）といわれており全体として微減する傾向にあります。しかし、比較的市場価値の高い軽二輪・自動二輪といった大型オートバイの保有台数には増加傾向がみられ、市場の拡大が続いております。一方で、当第1四半期連結会計期間における顕著な傾向として、中古オートバイオークション市場の成約台数は前年に比べ増加したものの、円高の影響等によってオークションに参加する輸出業者の買い控えが発生し、オークション市場の相場が下落いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは、「バイク王」をコアブランドとする中古オートバイ買取販売において、従来からの積極的な広告展開や多店舗展開による認知度・信用力の向上に加え、広告展開におけるクリエイティブ変更等の効果により販売台数が増加いたしました。しかし、上記のオークション相場の下落にともない、平均売上単価（一台あたりの売上高）ならびに平均粗利額（一台あたりの粗利額）が低下いたしました。

その結果、売上高5,983,011千円（前年同期比5.1%増）、営業利益104,400千円（同70.9%減）、経常利益120,021千円（同67.0%減）、四半期純利益50,661千円（同64.1%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <中古オートバイ買取販売事業>

オートバイ買取販売に関しては、上記のとおり、販売台数は増加いたしました。平均売上単価ならびに平均粗利額は低下いたしました。また、商圏の重複する店舗、立地として最適といえない店舗等の見直しを図り、店舗あたりの取扱台数の増加を目的とした店舗展開の効率化を鑑みながら、3店舗を閉鎖するとともに、増加するお問い合わせ件数への対応および災害等のリスクに備え、インフォメーションセンターの二拠点化の準備を進めてまいりました（平成20年12月に第二インフォメーションセンターを開設済み）。

また、オートバイ小売販売に関しては、新ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を中心に、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化および将来的な多店舗展開を視野に入れた基礎構築を進めてまいりました。なお、「バイク王」のブランド力・スケールメリットを活かし、買取販売とのシナジー効果の追求を目的に、小売販売店「テクノスポーツ」の看板を「バイク王ダイレクトSHOP」へ切り替え、小売販売ブランドの統合に着手いたしました（平成21年3月に完了予定）。

以上の結果、当第1四半期末現在の直営店舗数は、99店舗（買取販売店：88店舗、小売販売店：10店舗、パーツ販売店：1店舗）となり、売上高は5,904,575千円（同4.6%増）、営業利益は115,829千円（同69.4%減）となりました。

#### <オートバイ駐車場事業>

子会社「株式会社パーク王」にて展開するオートバイ駐車場事業において、事業地の確保・拡大戦略から収益性の向上を中心に置いた事業展開に努めてまいりました。その結果、226車室（時間貸181車室・月極45車室）を新規に開設するとともに、不採算のため15車室（時間貸8車室・月極7車室）を閉鎖しており、当第1四半期末現在の車室数は1,362車室（時間貸837車室・月極525車室）となりました。

以上の結果、売上高は78,526千円（前年同期比74.0%増）、営業損失は11,505千円（前年同期は20,298千円の損失）となりました。

なお、前年同期比につきましては参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて427,124千円減少し、4,247,221千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少681,727千円によるものであります。

#### （固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,961千円減少し、1,686,920千円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて415,426千円減少し、1,257,311千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少435,988千円によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10,145千円減少し、55,208千円となりました。

(純資産)

純資産の部合計は、前連結会計年度末に比べて4,514千円減少し、4,621,621千円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成20年10月15日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間のたな卸資産の簿価切下げに関して、収益性が低下していることが明らかなたな卸資産についてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行っております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,927,874	3,609,602
売掛金	96,267	103,197
商品	816,772	605,383
貯蔵品	4,863	1,867
その他	401,704	354,368
貸倒引当金	△261	△73
流動資産合計	4,247,221	4,674,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	612,759	628,968
その他（純額）	240,789	234,432
有形固定資産合計	853,549	863,401
無形固定資産	211,911	196,899
投資その他の資産		
その他	626,460	634,580
貸倒引当金	△5,000	△5,000
投資その他の資産合計	621,460	629,580
固定資産合計	1,686,920	1,689,881
資産合計	5,934,141	6,364,227

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,697	100,380
短期借入金	238,000	220,000
未払金	554,020	493,503
未払法人税等	36,339	472,327
賞与引当金	27,561	—
その他	318,692	386,525
流動負債合計	1,257,311	1,672,737
固定負債	55,208	65,353
負債合計	1,312,519	1,738,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,357,348	3,367,829
株主資本合計	4,548,271	4,558,752
新株予約権	73,350	67,383
純資産合計	4,621,621	4,626,136
負債純資産合計	5,934,141	6,364,227

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	5,983,011
売上原価	2,964,239
売上総利益	3,018,772
販売費及び一般管理費	2,914,371
営業利益	104,400
営業外収益	
受取利息	201
助成金収入	7,064
クレジット手数料収入	5,938
その他	5,398
営業外収益合計	18,602
営業外費用	
支払利息	1,130
為替差損	1,758
その他	93
営業外費用合計	2,982
経常利益	120,021
特別利益	
固定資産売却益	197
特別利益合計	197
特別損失	
固定資産除却損	219
特別損失合計	219
税金等調整前四半期純利益	120,000
法人税、住民税及び事業税	29,525
法人税等調整額	39,814
法人税等合計	69,339
四半期純利益	50,661

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

	中古オートバイ 買取販売事業 (千円)	オートバイ 駐車場事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,904,575	78,436	5,983,011	—	5,983,011
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	90	90	△90	—
計	5,904,575	78,526	5,983,101	△90	5,983,011
営業利益(△損失)	115,829	△11,505	104,323	77	104,400

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、当社グループの事業内容を勘案して区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

- (1) 中古オートバイ買取販売事業：中古オートバイ買取販売、パーツ販売、オートバイ小売販売
- (2) オートバイ駐車場事業：駐車場装置・駐車設備機器の開発・製造・販売、駐車場の管理等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	5,692,267
II 売上原価	2,796,485
売上総利益	2,895,782
III 販売費及び一般管理費	2,537,458
営業利益	358,324
IV 営業外収益	7,819
V 営業外費用	2,910
経常利益	363,233
VI 特別利益	530
VII 特別損失	1,745
税金等調整前四半期純利益	362,018
税金費用	220,858
四半期純利益	141,159

(2) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日)

	中古オートバイ 買取販売事業 (千円)	オートバイ 駐車場事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,647,232	45,035	5,692,267	—	5,692,267
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	94	94	△94	—
計	5,647,232	45,130	5,692,362	△94	5,692,267
営業費用	5,268,636	65,428	5,334,065	△121	5,333,943
営業利益(△損失)	378,595	△20,298	358,296	27	358,324

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、当社グループの事業内容を勘案して区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

- (1) 中古オートバイ買取販売事業：中古オートバイ買取販売、パーツ販売、オートバイ小売販売
- (2) オートバイ駐車場事業：駐車場装置・駐車設備機器の開発・製造・販売、駐車場の管理等

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日)

当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日)

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。